

令和6年 第9回

羅臼町教育委員会議事録

令和6年第9回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和6年7月24日(水) 13時30分～15時00分

2 場 所 羅臼町役場 3階 第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	葛 西 良 浩
委 員	芦 崎 拓 也
委 員	佐々木 美 穂
委 員	小 林 真裕子
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	八 幡 雅 人
社会教育課長	長 岡 紀 文
総務管理係長	櫻 庭 千 尋

4 欠席者

なし

5 傍聴者

なし

6 議 題

報告 第10号 羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況
について

報告 第11号 諸会議・諸行事について

7 その他

1. 教育指導主幹通信について

【開 会】

○石崎教育長

令和6年第9回教育委員会を開催致します。

先週、北海道市町村教育委員会研修に参加しました。オリンピックに出場された北海道教育委員の川端絵美氏の「オリパラ教育と子どもたちの未来生活」の講話を聞いてきました。ふるさと北海道に愛着と誇りを持って、様々な活動に取り組んでいるということが強く感じられるお話でした。研修会の後には、委員の皆さんにもお話ししていたとおり、幼稚園と小学校を併設した森町の視察に行ってきました。森町教育委員会委員の毛利教育長が出迎えてくださり、学校関係者、幼稚園関係者、教育委員会の係長から説明をいただき、大変有意義な視察でした。

今日が幼稚園の終業式でした。明日が羅臼高校の終業。明後日が小中学校の終業式です。1学期中は大きな事故もなく、学校運営、幼稚園運営がされ、非常に安心をしています。暑い日が続いていますので、休業明けはしっかりと熱中症対策に取り組んでいただきたいと、学校と幼稚園に伝えているところです。夏休み中に大きな事故等が無く、子ども達には元気に過ごしていただければと思います。

羅臼町は、昆布シーズンが始まり忙しい時期に入りました。暑い日が続いていますので、委員の皆さんも健康には十分留意願います。

本日は全員出席ですので会議は成立となります。議事録署名委員につきましては、芦崎委員と小林委員にお願い致します。

議事の確認をさせていただきます。本日の議題は、報告事項として、報告第10号「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について」、報告第11号「諸会議・諸行事について」の2件です。

○全委員

異議なし

○石崎教育長

2点ほど行政報告をさせていただきます。

中体連についてですが、6月後半から7月にかけて、知床未来中学校が各種目の管内大会に出場しました。結果は、ソフトテニスの個人と野球部が全道大会に出場することになりました。テニス部については女子が3ペア、男子は2ペアが千歳市で開催される全道大会に出場します。野球部については、知床未来中、標津中、川北中の3校合同のチームで、旭川市で開催される全道大会に出場します。昨日、町長室で表敬訪問がありました。暑い地域での試合になりますが、悔いのないよう頑張ってもらいたいと思います。

A L Tについてですが、マードック・ザサード・ウイリアム・スペイトさんが、3年間A L Tとして頑張ってくださいました。7月をもって任期が終了となり、今週の土曜

日に羅臼町を離れることとなります。7月31日には、アイルランドから新たなALTが着任し、夏季休業明けから学校で授業を行いますので、委員の皆さんにもご紹介したいと思います。

以上、行政報告とさせていただきます。議事に移りたいと思います。

【議 事】

●報告 第10号 羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について

○石崎教育長

報告第10号「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の1ページをお願い致します。報告第10号「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について」です。羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について、別紙のとおり報告致します。参考資料の1ページをお願いします。6月28日に第2回検討委員会を開催しています。各校のメリット、デメリット、クリアすべき点についての協議を行いました。これまでの検討内容と合わせ、1ページから2ページにかけてまとめておりますので、ご報告させていただきます。

羅臼小学校・羅臼幼稚園に統合した場合の意見ですが、羅臼小学校・羅臼幼稚園は、市街地に校舎・園舎があることから役場や消防、診療所、町民体育館らうすば等の公共施設に近く、災害等の非常時の対応に安心感がある。また、図書館、道の駅、漁協市場等も徒歩圏内にあるため、施設見学事業もしやすく、散歩活動では地域の人との触れ合いや園児・児童を目にする機会が多いことから防犯面でも安心感がある。陶芸室や多目的ホールを有し、一般開放により町民利用が可能である。施設規模が大きく、幼稚園との併設も可能であり、春松地区同様に小学校と幼稚園の連携による教育環境は整えられるが、幼稚園用に設計されていないため遊戯室がなく、遊戯スペースは施設面で不足が生じる。小学校との調整により体育館を使用することは可能だが、集会活動や園児自らの活動提案（子ども達が話し合ってやりたいこと）に対し、使用状況によっては叶えられないことも想定される。校舎・園舎は老朽化が著しく、暖房は温泉を活用しているが、温泉配湯管の老朽化や温泉設備の不具合によりこれまでも多額の費用を要している。グラウンドは水はけが悪く、用地的に狭隘であることや駐車場としての活用も考慮し、拡幅も含めて整備が必要である。校舎からの移動にも距離があるためグラウンドへの渡り廊下を使用しているが老朽化が激しく、水道やトイレ設備もないことから改修が必要である。

春松小学校・春松幼稚園に統合した場合の意見は、春松小学校・春松幼稚園は、幼小の併設を考えた施設であるため、園児・児童も非常に住み心地が良く、暮らしやすい。連携した教育環境は良い評価を得ているが、市街地からは多少離れているため、近隣に公共施設等は少なく、校外活動の範囲は狭い。「地域の学校」という意識が強く、保護

者や地域とのつながりが良い。駐車場が狭隘で、送迎時には車両が連なることから統合した場合には駐車場の確保が課題となる。広いグラウンドを有しており、運動会や発表会等の行事の際にはグラウンドを駐車場として活用することは可能である。年々、支援が必要な子が増えていることから、個々に対応した指導等をするためには幼稚園教室が足りない。校舎・園舎の暖房は灯油を使用しているため、昨今の原油価格高騰等により燃料費が高額となっている。今後においても多額のランニングコストを必要とする。

両校の共通事項は、通園・通学手段を確実に確保し、バスの増便及び通園距離が延びる園児に対しては専用バス（幼児バス）を導入すること。羅臼小学校は建築後30年、春松小学校は建築後20年をそれぞれ経過しているため老朽化が著しく、両校とも給排水設備や電気設備等の更新が必要である。園児・児童・教員（大人）に適用したトイレを整備（洋式化を含む）すること。新しい学校のイメージ（このような学校にしたいからこの学校に統合する）を明確にすること。

統合に期待する意見は、統合による「不都合さ」は子どもの成長を促し、園児と児童の距離が近くなることで思いやりの心が育つ可能性がある。統合によって見えるデメリットもプラス視点でメリットに変えられる。

以上、これまでの検討内容をまとめ、昨日の第3回検討委員会において確認したところですが、今後のスケジュールについての意見をいただいております。町民の皆さんにしっかりと説明や意見を求める機会を設けていく必要があるのではないかとこのことでしたので、お配りしました、スケジュール（案）2024.7.23改をご覧ください。7月23日に第3回検討委員会を開催しました。第4回検討委員会は8月6日を予定しています。この第4回検討委員会で答申（案）を委員の皆さんにお配りし、確認をさせていただく予定です。8月13日には、検討内容及び検討経過を広報で周知する予定です。8月20日前後に第5回検討委員会を開催し、最終答申書の確認及び教育長へ答申と考えています。次回の8月28日の教育委員会で諮問機関からの答申内容等の確認をさせていただきます。昨日の第3回検討委員会で、決定前に説明会をして再度意見を聞く機会を設けた方が良いのではという意見がありましたので、答申を受けてから、統合先が決定する前の9月上旬に答申内容の確認ということで、説明会を開催すると共に、2週間程度の期間でパブリックコメントを求めたいと思います。説明会での意見と、パブリックコメントをいただいた上で、9月中旬の総合教育会議で統合先を決定したいと考えています。統合先決定後には、教育関係合同会議と議員との懇談会において、統合先決定の報告をする予定です。9月下旬には最終決定の報告をするための町民向け説明会を行う考えです。このようなスケジュールで進めていければと思っています。

以上、本日までの進捗状況の報告とさせていただきます。

○石崎教育長

森幼稚園、森小学校の視察についても報告願います。

○学務課長

森幼稚園、森小学校の視察について報告させていただきます。7月19日の午後、森幼稚園、森小学校の視察を行い、森町の教育長、学校教育課長と総務係長、小学校の校長と教頭、幼稚園の園長と主任にご対応いただきました。森幼稚園は、令和4年3月に旧幼稚園舎の耐震検査の結果が基準を満たさないことが判明し、園舎の利用が困難となり、幼稚園側は説明会を8回開催し幼稚園を小学校に併設したということです。小学校側の説明会は無かったそうです。その後アンケート調査で保護者に4つの案として「幼稚園を新築」「旧幼稚園を改修」「森小学校と併設」「他の幼稚園に統合」を提示し方向性を確認した結果、新築・改修はコストの問題があり、半数以上の保護者が森小学校に併設を選んだということです。その際には意見として、幼稚園が小学校に併設することにより音の問題で、小学校の授業の邪魔になるのではないかとという心配の意見や、6年生までいるので体格差のある小学生とぶつかるのではないかとという意見があり、羅臼町の説明会の中でも出ていた意見ですので、どの地域でも保護者が懸念することは同じだと感じました。小学校に併設することに決まってから、施設の改修が行われています。幼稚園部分は、玄関の増設、照明器具LED化、教室内に手洗い場の新設、トイレ改修、屋外遊具の整備、駐車場の舗装整備、教室の内装と建物が防火法上の複合施設になるということで非常灯の整備、園庭を新設です。屋外遊具については、旧幼稚園から移設したものと新設したものがある。併設前後の比較ですが、電気ガス水道の光熱水費は約120万円減、灯油等の燃料費は約70万円減、合計で約200万円弱の削減になり、改修全体の工事費用は約2億円弱ということです。施設の利用についてですが、旧幼稚園の遊戯室と比較すると、現在の遊戯室はステージも無く半分程度の面積であり狭く感じているという幼稚園側の意見です。そのため学校が休みの日には、体育館を使わせていただいて、広い体育館で遊ぶことを園児は大変喜んでいるそうです。幼稚園と小学校の合同避難訓練を実施しているが特に問題はないそうです。施設の仕切りとしては、階段は支援が必要な園児が増えたため、移動式のパーテーションで仕切り、階段を上がり小学校側に行かないよう指導が必要になっている。小学校と併設になったことを園児は特に気にする様子がない。仕切りのパーテーションを開けてみたところ、休み時間に小学生と園児の交流があり良いことだと感じたそうです。交流についてですが、小学校に入学した1年生のお世話を6年生がするので、3学期の時点で5年生が年長児に校舎を案内するという交流を行ったということです。また、休み時間中の交流も見受けられるそうです。令和6年度に入ってから取り組みは、特別支援学級の児童と幼稚園の交流です。併設したことにより、幼稚園は小学校の運動会練習を見ることができ、発表会の練習もお互いに見ることができるようになります。小学校側は休み時間などの交流はほぼ無いという認識のようでしたが、幼稚園の先生が把握しているのであれば構わないということでした。小学校としては、怪我や事故の心配があるので幼稚園に行かないようにというスタンスでした。小学校は、ある程度の限られたスペー

スで大人の目が届く範囲の交流から始めていければという考えでした。園児と生徒の認識については、これまでは小学校入学のため園舎から校舎に環境が変わっていたが、併設により「ワクワク感」「緊張感」が薄れているのではないかと聞いてみたところ、「ワクワク感」「緊張感」が薄れているようには見えないということです。森幼稚園から入学した1年生は生き生きしているそうです。入学前から小学校を見ているのは大きいのではないかとということです。他の幼稚園、保育園からの入学もありますが、森幼稚園から入学した1年生は自信がある顔に見えるそうです。メリットは、森小学校と森幼稚園の近くには、森中学校と森高校があるので、高校までの流れの中で、子ども達が成長してほしいということで、教員も含めた交流をしていきたいということです。デメリットとしては、小学校として使えるスペースが少なくなったことです。小学校の多目的スペースだった場所を幼稚園が遊戯室として使用することになったためです。また、旧幼稚園の園庭には、木や草があったが、現在の園庭にはそれらの物が無く、自然に触れる機会が減ったということです。幼稚園側は、行事等のやり方が変わるので、一から考える作業が増えたそうです。その他としては、小学校に入学すると、他の保育園児と一緒にになるので、幼稚園と保育園の交流を行い、保育園の子ども達にも小学校を身近に感じられる交流を行いたいと考えているそうです。このように懇談をさせていただき、施設見学をさせていただきました。お配りした写真をご覧ください。新たに増設した幼稚園玄関です。増設前は壁だったそうです。次のページは、各幼稚園教室に整備した手洗い場と改修した男女の仕切りのない幼稚園のトイレの写真です。また、トイレの空きスペースには、園児用のシャワーと洗濯室を整備しています。以上、視察の報告とさせていただきます。

○石崎教育長

検討委員会で新たなスケジュールを確認したということです。地域住民、保護者に対し対面でしっかりと検討内容をお伝えした上で、総合教育会議で決定していく流れになります。きめ細かく丁寧に進めていくためのスケジュールについて、委員の皆さんからご意見等がありましたらよろしくお願いします。

○全委員

異議及び、意見・質問等は特になし。

○石崎教育長

繰り返しになりますが、しっかりと説明をしてご理解をいただきたいと思っております。委員の皆さんもご都合が付けば、説明会に出席していただければと思います。

検討委員会では、どちらの学校にということではなく、羅臼小学校または春松小学校に統合した場合のメリット・デメリットについて検討していただいております。検討委

員会の資料の中で、気なること、確認したいことがあれば、ご意見をいただきたいと思っています。

○佐々木委員

パブリックコメントへの回答について意見があったと思います。9月初旬から中旬の説明会とパブリックコメントへの回答も、これまでと同じ方法が良いと思いますが、他の方法は考えていますか。

○学務課長

個々に回答することはありません。意見をいただき、このような意見があったということも含めての最終判断にしたいと思っています。

○佐々木委員

検討していますという回答が続くことは、真摯さに欠けると感じていましたので、これまでと同じ方法が良いと思います。

○学務課長

答申内容の説明会もパブリックコメントも、どちらにという意見が出てくると思います。意見を聞いた上で、最終判断をすることになります。

○佐々木委員

これまで様々なご意見をいただいているので、総まとめのメッセージがあれば良いと思います。

○学務課長

最終決定をしたときの報告の中で、どのような言葉にするかを検討したいと思います。

○石崎教育長

他にご意見、ご質問はありますでしょうか。

○全委員

意見・質問等は特になし。

○石崎教育長

視察に関してお話をさせていただきます。

森小学校と森幼稚園は昨年の11月に統合ですので、1年を経過していない状況の中で、小学校の校長・教頭、幼稚園の園長・主任、教育委員会の係長の方々に対応していただきました。建物は春松小学校と同じような形になっていました。動線としては2階の小学生が体育館に行く場合、幼稚園の近くを通りますが、ドアやパーテーションによって小学生は幼稚園側に入れなくなっており、玄関もそれぞれ別で、しっかりと小学校と幼稚園が独立した形で取り組めるような改修でした。資料の写真の中にありますとおり、ドアで小学校と幼稚園が仕切れ普段は開けていないそうです。階段部分についてはお互いが見える形になっています。

横澤主幹から、視察で感じたことをお願いします。

○横澤主幹

森小学校の校舎は建築後36年が経過しているそうです。元々各学年4クラスの24教室があり羅臼小学校の2倍の大きさです。今回の併設で、1・2年生が使っていた1階部分に幼稚園が入ったということで、仮に羅臼小学校に統合・併設としたと想定した場合に、羅臼小学校の1階よりも多少広く感じました。小学校が使用していた多目的ホールを遊戯室にしていたのですが、羅臼小学校の玄関ホールよりも広い作りでした。小学校の教頭先生の話では、多目的ホールを使えなくなったことが一番痛いということでした。階段のバリエードやパーテーション、廊下のドアで幼稚園と小学校を仕切っていました。必要ないのではないかと思います。羅臼町は一貫教育に取り組んでいますので、校舎が一つになった場合、幼小の9年間にはできるだけ交流をさせたいと考えています。小学校6年生と年少児がぶつかる怪我の恐れがあると心配をしていましたが、羅臼町の園長にそのようなケースが考えられるかと聞いてみたところ、「それほど心配していません。」という回答でした。小学校の高学年が全力で走ってぶつかることは想定できませんし、神経質になり過ぎなくても良いのではないかと感じました。羅臼町の幼小連携では架け橋期のカリキュラムにより、やるべきことを決めています。施設改修では男女一緒のトイレなど我々が気づかないこともありました。園庭は遊具があり広く感じましたが地面が砂でした。安全面を考慮しての砂ということでしたが、走りにくいという欠点もあるそうです。玄関の増築も含め改修は総額で2億円弱ということでした。視察に行って良かったと思っています。

○石崎教育長

八幡課長お願いします。

○学務課長

子ども達は併設を気にしてないようですが、幼稚園の先生は騒音など小学校に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しているようでした。羅臼町の小学校2校よりも古

い校舎でしたので足音が大きく聞こえる印象でした。小学校側のチャイムが幼稚園側にも流れますが幼稚園の子ども達は全くと言っていいほど気にしていないそうです。視察をしたことにより、当町の小学校の改修する部分がもう少し出てくる可能性があるのではないかと思います。全体的には、園庭も含めて広い作りでしたが、どこまで求められるかにもよりますが、難しい部分が出てくるかもしれません。

○石崎教育長

櫻庭係長お願いします。

○総務管理係長

今回の併設は何年も前から計画されていたことではなく、令和4年3月に旧幼稚園が耐震基準を満たさないことが判明し短期間で併設したということですので、準備期間が短かったことがお互いの気遣いにつながっているように思いました。羅臼町に置き換えてみたときに、仮に春松小学校に統合した場合にはこれまで積み上げてきたものがありますし、羅臼小学校に統合したとしても、春松小学校の取り組みを移行できるのではないかと思います。施設については、1階を使用していた1・2年生が2階に移動し、幼稚園として使用する部分の改修を集中的に行ったようですので、9ヵ月という期間で改修工事を終えたそうです。羅臼町がどのような形になるかは分かりませんが、子ども達が、校舎を使用している中での工事は、様々な制限が出てくると思いますので、短期間での工事が可能か心配になりました。

○石崎教育長

視察の内容について、委員の皆さんからご確認、ご意見などありましたらお願い致します。

○佐々木委員

玄関の増設を考えたときに、羅臼小学校に統合した場合、玄関ホールに児童玄関スペースを加えた広い遊戯室にできないかと思いました。玄関は吹き抜けになっているため音の心配はありますが、視察の説明を受け児童玄関の利用を考えました。以前、渡り廊下を使用しグラウンド側を玄関にできないかという話があったと思います。小学校の玄関をグラウンド側、幼稚園は現在の児童玄関を使用することも考えられると思います。

○石崎教育長

渡り廊下の部分が小学校の玄関で、現在の玄関を改修し広い遊戯室を作りその前に幼稚園の玄関を増設するということですか。

○芦崎委員

お寺側に幼稚園の玄関という考え方もあります。

○学務課長

お寺側には合併処理浄化槽が設置されていますのでスペースの問題があります。

○芦崎委員

校舎の裏側にもスペースはあると思います。

○石崎教育長

小学校と幼稚園を併設すると、イメージとして玄関は別にという考えになるかもしれませんが、一緒にすることで交流が生まれると思います。そういった視点で言えば、現在の羅臼小学校の玄関を例えば右側を小学生、左側を幼稚園児という方法はどうですか。

○佐々木委員

遊戯室が狭くならないのであれば良いと思います。

○芦崎委員

春松小学校と春松幼稚園の玄関は別です。

○石崎教育長

別々の玄関であれば管理はしやすいと思います。

○学務課長

登校登園時間が異なりますので、一緒の玄関でも重なることは無いと思います。帰りは調整が必要かもしれません。

○芦崎委員

施錠の関係もあると思います。

○佐々木委員

職員室から見える範囲の玄関が安心で良いと思います。

○学務課長

現在の羅臼小学校玄関ホールですが、柱があるのが気になります。

○横澤主幹

園長とお話ししたときに、小学校と幼稚園の玄関が一緒になると施錠が困るということでした。園児が脱走する可能性があるということです。

○芦崎委員

来客の関係もあると思います。

○葛西委員

玄関を増やすことで脱走経路が増えてしまう可能性があります。

○石崎教育長

幼稚園の玄関は重い扉ですが、鍵を開けて脱走してしまうこともあるそうです。

○横澤主幹

羅臼小学校の職員玄関はセンサーでチャイムが鳴る仕組みですので、児童玄関側にも設置できると思います。

○石崎教育長

羅臼小学校の児童玄関の前にせり出しがあります。せり出し部分を玄関にして、現在の下駄箱を前に出すことで、遊戯室として使える場所が広がると思います。改修に合わせた動線の確保も必要になります。しっかりと小学校と幼稚園の玄関を分けるという方法もありますが、交流の面では一緒の玄関というのも良いと思っています。管理の面で考えると、玄関を分けなければ難しさが出てくると思います。渡り廊下を通過してグラウンド側に玄関という方法も良いと思いますが除雪が課題です。先ほど森幼稚園の園児が小学校のチャイムを気にしていないという話がありました。

○横澤主幹

羅臼小学校はノーチャイム。春松小学校は中休みと昼休みの終わりのみだったと思います。

○石崎教育長

森幼稚園はお昼寝が無いためチャイムで目を覚ますということはありません。小学校のお昼の放送を幼稚園も聞くことができ、園児は楽しみにしているそうです。

○学務課長

お昼の放送では幼稚園がリクエストした曲も流してくれるそうです。

○石崎教育長

羅臼小学校に統合ということになれば、ノーチャイムですので問題ありません。

○芦崎委員

羅臼小学校はグラウンドの課題があると思います。

○学務課長

検討委員会でも、羅臼小学校のグラウンドは狭いという意見が出ています。

○石崎教育長

羅臼小学校のグラウンドは狭いと思いますか。

○全委員

狭いとは思わない。

○芦崎委員

以前の児童が多い時も普通に使っていました。

○石崎教育長

運動会を見ても十分なスペースだと思います。

○佐々木委員

羅臼小学校のグラウンドを改修すると水はけは良くなりますか。

○学務課長

春松小学校のグラウンドも特に水はけが良いわけではありません。

○石崎教育長

羅臼小学校と春松小学校の水はけを比較すると、春松小学校の方が良いという程度です。

○芦崎委員

春松小学校のグラウンドは海側に向かって傾斜があります。そのため、遊具側に水が溜まってしまいます。

○横澤主幹

今年の春松小学校・春松幼稚園合同の運動会ですが、日曜日を予定していたが雨のため延期、月曜日にも水たまりがありました。同じ月曜日の知床未来中学校のグラウンドは乾いていました。

○石崎教育長

どちらの小学校に統合しても、グラウンドの改修は必要になります。

○佐々木委員

春松幼稚園はそれぞれの教室から柵で囲われた園庭に出れる作りになっています。羅臼小学校に併設した場合には、どれくらいの範囲で囲いを作り外遊びができますか。校舎と芝生の間には道路がありますので、直接芝生の部分に行けますか。

○横澤主幹

普段は校舎前に車は入りません。教室に外に出られるドアがありますので、そこから出ることは可能です。

○学務課長

教室から外に出れば芝生の部分は近くなります。

○石崎教育長

柵で囲うというよりは、現在もネットで囲っていますのでその範囲になると思います。小学校前には砂場がありませんので新設する必要があります。校舎前は芝ですし、水道もありますので良い環境だと思います。森幼稚園の園庭の地面が砂ということで、走りにくいということですが、怪我の防止というメリットがあります。

視察で感じるがありました。羅臼小学校に統合するとした場合、幼稚園を併設するとなっても、工夫することによって可能になると感じたところです。玄関や遊戯室等の改修が出てきます。相対的に見て、小学校と幼稚園を併設することで、教育効果が高いということが共通認識に立てることだと思っています。この視察で私自身が足りていなかったことは、幼稚園を併設したいという思いから、幼稚園を小学校に入れる方法ばかりを考えていました。森小学校の教頭が言うように、幼稚園を併設することで、小学校の部分が手狭になるということです。小学校側の意見としては、それまで使っていた場所が幼稚園の遊戯室になり使えなくなってしまうということです。羅臼小学校に置き換えたときには、玄関ホールが幼稚園の遊戯室になるということです。羅臼小学校の一斉下校では玄関ホールに児童を集めるということがありますか。

○横澤主幹

一斉下校時には児童を町内会毎に並ばせます

○石崎教育長

小学校にとっては使いやすいスペースになっていると思います。

○横澤主幹

そのような使い方は、年に1度あるかないかです。

○芦崎委員

羅臼小学校はグラウンドに遊びに行くということが少ないと思いますので、玄関ホールで遊んでいると思います。春松小学校はグラウンドで遊ぶ児童が多いです。

○小林委員

羅臼小学校は、校舎前の築山で遊ぶことが多いと思います。

○横澤主幹

羅臼小学校の校長時代に、グラウンドで遊んでいる児童はいませんでした。

○石崎教育長

校舎前は芝ですので、遊びやすいということだと思います。小学校は玄関ホールを頻繁に使っているわけではないということですか。

○横澤主幹

行事等で使うことは少ないと思いますが、子ども達から遊ぶ場所が減ったという意見が出るかもしれません。

○芦崎委員

自由研究や作品の展示を行っていたかと思います。

○小林委員

現在は、各教室の前に展示しています。

○葛西委員

以前は、百人一首をやっていました。

○小林委員

学習発表会での集合写真撮影スポットでもあります。

○佐々木委員

玄関ホールは、小学校として絶対に必要な場所ではないということですか。

○石崎教育長

幼稚園と併設すると、幼稚園スペースになると思います。今後も話題にして共通理解に立てれば良いと思います。

他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○佐々木委員

通学方法の件について進捗はありますか。

○学務課長

昨日の検討委員会でも話がありました。阿寒バスとはやり取りをしていますが、どちらの学校にということが決まれば検討は進んでいくと思います。まずは統合先をしっかりと決めるということです。検討委員会では、登下校に関連した放課後の遊び方についての意見もありましたが、統合先が決まらなければ、路線等の本格的な検討ができないところです。統合先の決定はできるだけ前倒しをしていきたいと考えています。

○石崎教育長

通園通学は毎日のことですので、しっかりと体制を整えていきたいと思っています。

○学務課長

羅臼小学校に統合した場合、現状のバスの動きと変わりません。春松側から来るバスに乗っている児童が、春松小学校で降りずにそのまま羅臼小学校まで乗車するということです。春松小学校以降の乗車が増えても乗れるのかという課題だけですが、春松小学校に統合した場合には多くのダイヤ変更が必要になりますので、検討にも時間がかかると思います。

○石崎教育長

他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○全委員

意見・質問等は特になし。

○石崎教育長

今後も意見交換をさせていただきたい思います。報告第10号「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の1校1園化に向けた進捗状況について」は承認とさせていただきます。

●報告 第11号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

報告第11号「諸会議・諸行事について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の2ページをお願い致します。報告第11号「諸会議・諸行事について」報告致します。7月から9月までの主な行事予定を記載しています。本日7月24日は教育委員会です。7月25日から8月19日までは各幼稚園夏季休業です。7月26日から8月18日は羅臼高校の夏季休業です。7月27日から8月19日は各小中学校の夏季休業です。7月29日はESD研修会・一貫教研修会が開催されます。7月30日には道研地域連携研修が開催されます。8月6日から8月9日に山口県周防大島町教職員が来町し視察をされる予定です。8月9日から8月14日までは学校閉庁日です。記載はありませんが、羅臼高校の閉庁日は8月8日と9日、8月13日から15日です。8月22日から23日までは根室管内校長会教育懇談会・研究大会が中標津町で開催されます。8月27日から28日は根室管内市町教育委員会連合会定期総会及び教育委員研修会が根室市で開催されます。8月28日は次回の教育委員会ですが時間については調整させていただきます。9月1日に第5回福祉のつどいが、らうすぼで開催されます。9月2日から9月6日に教育大学境ゼミ基礎実習を羅臼小学校で行います。9月7日から9月8日にはアフタースクールを羅臼小学校で行います。9月10日から9月12日に羅臼町議会定例会が開催されます。9月25日は教育委員会を予定しています。9月27日に第2回羅臼町外部評価委員会を予定しています。以上が学務課所管事項です。

○社会教育課長

社会教育課、図書館、郷土資料館所管事項です。7月29日から8月3日に第40回ふるさと少年探険隊を行います。隊長の葛西委員よりよろしくお願い致します。8月17日から8月20日まで絵手紙作品展をらうすぼで開催します。8月21日に水産教室と、こまぐさ学級を行います。8月25日に根室管内民謡のつどいを知床未来中学校で開催します。9月4日に水産教室、9月7日に知床 Kids、9月11日に水産教室を開催します。9月11日に、かかわりあそびPGをありんこで行います。9月16日はプール一般開放最終日です。9月17日に少年芸術劇場を開催しますが、会場については調整中です。9月18日水産教室、9月19日こまぐさ学級、9月26日に水産教室を開催します。図書館所管事項は、7月30日から8月1日の予定で、らうす寺子屋 Kidsを開催します。郷土資料館所管事項につきましては記載のとおりです。以上です。

○石崎教育長

報告第11号「諸会議・諸行事について」説明がありました。委員のみなさんから、ご意見、ご質問などありましたら、よろしく願いいたします。

○全委員

異議及び、意見・質問等は特になし。

○石崎教育長

報告第11号「諸会議・諸行事について」は承認とさせていただきます。
以上で議事を終了させていただきます。

【その他】

●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について説明をお願いします。

○横澤主幹

管内の生徒指導関係連絡協議会に出席し、警察から全国的な情報をいただきました。子どもの自殺が多い月は4月から6月ということです。日にちで調べていくと9月1日が最も自殺が多い日だということです。本州で夏休みを終えた1日目に自殺が集中しているという発表でした。

4月20日に「テレビ寺子屋」で放送された内容をご紹介します。田中ウルヴェ京さんは、ソウルオリンピックのシンクロナイズドスイミングで銅メダルに輝いた方です。現在は、様々な競技のトップアスリートにメンタルトレーニングを行っています。「最強の味方」は自分だということです。自分自身を「自分の最強の味方」にし、特に自分自身の心の言葉を味方にとということです。実際に気分が良くない時、難しい問題に対してイライラしていたり、不安になったりしているときに、心の声がネガティブに影響するということは、私達の感覚だけではなく、神経科学の研究でも分かっています。田中さんが編み出した方法は、自分を「名前呼び」客観性を伴わせるということです。田中さんは自分のことを「ミニミヤコ」と名付け、「ミニミヤコ」と会話をしてみるとということです。人間にとって考えないということは不可能ですので、自分自身のネガティブな言葉をプラスに変えていくことで味方につけていくということになります。「自分のメンタルは弱いんです」と言うことがあります。でも、その弱みや痛みに気づくことこそが解決の鍵になります。痛みを感じると嫌ですが、大事なサインだと思えるようになります。自分の中の敵の言葉は、実は「自分のココを直すともっと良くなるよ」「もうちょっとこういう風にやっていけばちょっとはマシな自分になれるよ」というサイン、声に過ぎないのですということです。自分の心の声を上手く解釈してプラスにしていければ良いのではということでした。子ども達もそうですが、先生方にも当てはまるのではないかと思います。

7月29日から30日に研修会を開催します。29日はESD&幼小中高一貫教育合同研修会です。ESD研修会は、「知床の海洋哺乳類が生態系に与える影響」ということで、東京農業大学の小林万里教授にお話をさせていただくことになっています。一貫教育研修会は、「教員も知っておいて損のない自殺・自死予防」ということで、昨年度まで羅臼町のスクールカウンセラーをやっていたらいた沼田先生に来ていただきます。今年初めての試みですが、知床学の交流ということで、全員が集まった場所で

各校がどのような海洋教育に取り組んでいるか、交流する場面がありませんでしたので、今年から取り組んでみようということで、各校から10分程度の説明を行います。2日目の30日は、羅臼町教師力向上研修会ということで、北海道立教育研究所の協力をいただき、講座1・講座2ということで開催することになっています。1日目は約70名、2日目は40名強が集まる予定です。

別紙の6月27日に開催した羅臼町特別支援教育研修会アンケート結果をお願いします。北海道発達障害者支援道東地域センター「きら星」を退職され、職場を変えた丸山先生にお話をさせていただきました。自閉症に関わる初歩のお話をさせていただきました。出席者に「この研修会をどう感じましたか？」と4段階の評価をしてもらい、平均が3.87という非常に高い数字でした。今年からですが、町主催の研修会の記録を教育委員会でまとめるにあたり、アンケートに回答することで出席とみなすとしたところ、ほぼ全員からの回答がありました。回答内容につきましては後ほどご覧いただけます。

○石崎教育長

教育指導主幹通信について説明がありました。委員のみなさんから、ご質問などありましたら、よろしくご願ひ致します。

○全委員

質問等は特になし。

○石崎教育長

事務局から、連絡、報告等ありましたらお願いします。

○学務課長

資料はありませんが、各学校のエアコン設置状況を報告させていただきます。スポットエアコンを各小中学校の教室に設置しています。羅臼小学校は各普通教室に計6台、春松小学校は、会議室・家庭科室・特別支援教室に計6台、知床未来中学校は、技術室と音楽室に計4台の設置を終えています。設置場所は状況を見ながら各学校で判断しています。ルームエアコンにつきましては、各小中学校の保健室に1台ずつ、羅臼幼稚園は午睡室2部屋にそれぞれ1台、春松幼稚園は年長児教室に1台を8月5日までの予定で設置工事を進めています。夏休み中には、設置工事を終える予定となっています。スポットエアコンの使用状況は、広い部屋では効果が低く、狭い部屋では一定の効果が得られています。日当たりや、扇風機使用の有無によっても効果が変わりますので、各学校で工夫しながら使用しているところです。

次回の教育委員会の日程ですが、8月28日水曜日、時間は調整をさせていただきます、後ほどご連絡させていただきます。

○石崎教育長

全体を通して、委員の皆さんからご意見ご質問などありましたら、よろしくお願い致します。

○全委員

全体を通しての、意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

以上で、予定していた会議日程を終了しました。1校1園化の検討については令和8年4月1日からということをご説明していますので、時間のない中での協議になりますが引き続きよろしくお願いいたします。

令和6年第9回教育委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。